

循環器内科

当該診療科の特長	人口22万人を擁する神戸市北区という閑静な住宅地域の急性期中核病院として循環器診療全般を行っている。	
プログラムの特長	<p>① 心臓超音波の実施、心臓CT・心臓核医学検査の読影、心臓カテーテル検査・治療の実施・末梢血管インターベンションの実施・ペースメーカー植込みの実施など循環器医としての必須の技術をベテランの上級医が丁寧に指導しながら直接実践することで習得できる。</p> <p>② 基本的に主治医としてすべて一人で診療を行う。しかし、複雑な症例では、カンファレンスなどで意見を出し合って診療方針を決めており、一人で悩むことはない。</p> <p>③ 研究会や学会への参加・発表も積極的に奨励しており、症例報告はもちろん、やる気があれば臨床研究のノウハウや発表の仕方なども一から指導する。</p> <p>④ 他の内科とのしきいが低いため、呼吸器・腎臓・血液・免疫・内分泌疾患なども上級医とともに診療することが可能で、総合内科専門医も取得可能。</p> <p>⑤ 個々人の体力や個性に合わせた無理のない研修を心がけている。</p>	
到達目標	<p>【1年目の行動目標】</p> <p>1. 総合内科医としての診療能力を高め、様々な疾患を抱える患者に対応可能とする。</p> <p>2. 上級医とともに心臓超音波の実施、心臓CT・心臓核医学検査の読影、心臓カテーテル検査・治療の実施・末梢血管インターベンションの実施・ペースメーカー植込みの実施が行える。</p> <p>3. 救急外来での循環器初期診療をマスターする。</p> <p>4. ICUでの呼吸循環管理をマスターする。</p> <p>5. 研究会・学会での症例報告を行う。</p> <p>6. 初期研修医の指導を行う。</p> <p>【2年目の行動目標】</p> <p>1. 1年目に引き続き、総合内科および救急診療の診療レベルをさらに高める。</p> <p>2. 単独で心臓超音波の実施・心臓カテーテル検査が行える。各治療手技のレベルもさらに高める。</p> <p>3. 初期研修医・後期研修医1年目の指導を行う。</p> <p>【3年目の行動目標】</p> <p>1. 単独で心臓CT・心臓核医学検査の読影、心臓カテーテル治療の実施・末梢血管インターベンションの実施・ペースメーカー植込みの実施が行える。</p> <p>2. 初期研修医・後期研修医1年目・2年目の指導を行う。</p> <p>3. 上級医の指導により臨床データを解析し、学会に応募し、発表する。</p>	
研修期間	3年間	
取得可能な資格等	学会名	取得可能な資格
	日本循環器学会	日本循環器学会専門医
	日本心血管インター	日本心血管インターベンション治療学会専門医

	ベンション治療学会	
	日本核医学会	日本核医学会専門医
	日本高血圧学会	日本高血圧学会専門医
指導体制	指導医：6名	
その他	大学医局への所属、未所属へ関係なく全国より専攻医を受け入れている。	